

業界有数の大手プロダクション「俳協」の次代を担う人材を育成

俳協

俳協ボイスアクターズスタジオ



<http://www.haikyo.co.jp/>
 TEL 03-3950-5712 (平日10:00~18:00) E-mail ghaikyo@jade.dti.ne.jp

Q 「俳協ボイスアクターズスタジオ」(「俳協ボイス」)入所を決めた理由は?

大下 最初のスタンダードクラスのレッスン期間が6か月と短期間で、濃厚なレッスンが積めると考えました。半年ならば、日常生活に支障をきたさず全身全霊を傾けられ、やるだけのことをやって結果が出ないときはスッパリ諦めつつというものです。

川原 私にとっては、入所のタイミングが年2回だったのがありがたかったです。別のスクールで演技に悩み、環境を一新したいと思い立って即行動に移せました。土・日にもレッスンがあるおかげで、私たちのような社会人も通うこともできます。

Q 最初に学ぶスタンダードクラスのレッスンはどんな内容?

川原 レッソンは発声や滑舌、与えられたテーマに沿った演技など、基礎初めが中心です。週1回のレッスンでは、先生から課題をいただき、レッスン以外の時間でそれを克服した成果を次回に披露。新たなタメ出しをもらい、次の課題に取り組む……というサイクルです。そうした中、最近は日常会話でも自然と滑舌に注意するなど、意識が大きく変わりました。また、自身の低音の声に対して「年増の役しかできないのでは……」と悩んでいましたが、レッスンでいろいろな役に取り組ませていただき、固定概念を壊せました。

大下 僕は演技経験ゼロなので、レッスンは苦戦の連続です。また、1回3時間のレッスンで自分がパフォーマンスできる機会も限られます。だからこそ、みんなの発表や先生の言葉のすべてが教科書。多彩な経歴、幅広い年齢のレッスン生が集まっているから、その教科書もバラエティーに富んでいて、レッスン中は演技のヒントがあふれています。

Q お2人が師事する沢田澄代先生の指導について

大下 鉛と鞭の使い分けが絶妙で、指示が明確だから「次は褒められるように頑張ろう!」という意識になります。うまくやろう

としてもすぐバレルから、「いまの自分」をさらけ出す以外に道はありません(笑)。

川原 気になる部分をすぐ指摘してくださるので、疑問を抱いた状態のままレッスンを終えることがありません。レッスン後も時間の許す限り、私たちの質問にこたえてくださるんです。おかげで次に自分が何をすべきか、明確な目標を持って1週間を過ごせます。

沢田 「俳協ボイス」は担任制で、レッスン内容や指導法は講師に一任されています。そこで、私の場合は「個人指導」という意識で臨んでいます。2人のように演技経験の差はあっても、各自のパフォーマンスを前回と比較して改善点を指示するので、問題はありません。また「俳協」に必要な人材を育てるのは全講師の共通課題なので、随時、講師間で意見交換や意思統一を図っています。同じレッスン生を見続けられるのは、講師としてもとても指導しやすいですね。

川原 私たちにとっても、担任制のおかげで「自分をわかってきている」という安心感につながります。

大下 そんな先生に成長した姿を見せるため、自然とレッスン生が集まって自主練習をするようになりました。

沢田 「諦めなければ道は開く」という言葉は、小学生時代の恩師にいただいた私の座右の銘。声優志望の方には、自分で可能性を否定せずに挑戦してほしいと考えています。手前味噌ですが「俳協ボイス」は年齢資格が16~38歳と幅広く、門戸を大きく開いています。自分の可能性を試す場所としては最適ではないでしょうか。夢を追うのに早いも遅いもありません。

'18年秋期スタンダードクラス受講生募集中!

「俳協ボイス」入所は年2回受け付けている。現在は下記日程で、今秋10月レッスン開始のスタンダードクラス受講生を募集中だ。入所希望者は、まず申込書付随の資料を請求しよう。

◆募集スケジュール

- ・入所面接日
 - 第1次入試 7月29日(日)
 - 第2次入試 8月26日(日)
 - 第3次入試 9月23日(日)
- ・申込書郵送締切日(必着)
 - 第1次入試 7月23日(月)
 - 第2次入試 8月20日(月)
 - 第3次入試 9月18日(火)

※事務所に申込書持参の場合、試験前日の17時まで受付

レッスン見学 随時受付中



広島県出身。東日本大震災に際しての声優の応援メッセージを聞いて号泣。声の持つ力を実感し声優を目指して上京し、働きながら「俳協ボイス」で学ぶ。目指すは個性派声優。

大下昌之さん

愛知県出身。「俳協養成所」を卒業してナレーションを中心に活躍しつつ、後進の育成にも力を注ぐ。主な出演番組は「おはよう世界」[BSフォーラム]「ニュースステーション」など。

沢田澄代先生

埼玉県出身。学生時代、部活動の苦勞をアニメに癒してもらい、インターハイ優勝を成し遂げる。その恩返しのため、社会人となった現在、働きながら「俳協ボイス」で声優を目指す。

川原クリス愛美さん

働きながら週1回のレッスンで声優を目指す レッスン生と2人を指導する講師が師弟鼎談

DATA

●QRコード
右のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、公式サイトへのアクセスが可能(機種によって動作が異なる場合があります)

●所在地
〒161-0034
東京都新宿区上落合1-17-9
※西武新宿線下落合駅より徒歩3分
※「俳協演劇研究所」への問い合わせは下記まで
TEL: 03-3950-5705
E-mail: ghaikyo@jade.dti.ne.jp

もうひとつの養成スクール「俳協演劇研究所」もあり

俳協は「俳協演劇研究所」という養成スクールも持つ。こちらは、より演劇に重点を置いたカリキュラムで、レッスン期間は1年。研修後の審査を経て、俳協のセクションのひとつ、劇団俳協の準劇団員になれる。将来、公演活動やマスメディアへの出演を目指す人にオススメだ。

本格的な劇場を併設プロが身近な環境

稽古場の地下にある、本格的な劇場「TACCS 1179」。ここは、拠点とする劇団俳協をはじめ、年間を通じて数々の作品が上演されている都内屈指の人気劇場で、声優が出演するものも多い。レッスン生は、そうしたプロの空気を身近に感じながら稽古に励めるため、大きなモチベーションになる。

6か月ごとに結果が出る短期集中のシステム

俳協ボイスアクターズスタジオ

スタンダードクラス(6か月)
週1回3時間、発声・滑舌、基礎演技などを学び、全講義修了後の審査で合格すると進級できる。各クラスは20名以内編成の担任制。俳協所属のプロ声優が専任講師を務め、丁寧に指導する。

アドバンスクラス(6か月)
週1回3時間半、収録スタジオなどを使った現場に近い環境でレッスンを行う。内容はセリフ劇、ナレーション、アテレコなど。その中で高い評価を得た人が、俳協に迎え入れられる。

俳協